

研究分野		授業科目名				科目責任者	
形態系分野		腫瘍内科学特論Ⅱ				瀧川 奈義夫	
開講年次		共通／専攻／選択		単位数			
1,2		選択		2			
目的							
難治性悪性腫瘍に対するがん薬物療法の更なる進歩を遂げるため、悪性腫瘍に関する分子生物学の基礎知識を身につけ、腫瘍内科医としての総合的な臨床能力を向上させる。							
授業到達目標							
(1) 悪性腫瘍（特に肺がん）の細胞特性を理解し、説明できる。 (2) 悪性腫瘍の分子生物学的分類を理解し、治療方針を説明できる。 (3) 悪性腫瘍の微小環境（特に血管新生・免疫反応）を理解し、治療への応用を模索できる。							
授業計画							
回数	月日	曜日	時間	担当者	区分 1	区分 2	授業内容
1	隔週	金	17:30-18:30	瀧川 奈義夫	講義	[抄読会]	肺がんをはじめとする腫瘍学一般の最新知見，基礎研究に関する英語文献を紹介する。 [場所:総合医療センター11階西カンファレンス室]
2	隔週	金	17:30-18:30	瀧川 奈義夫	講義	[抄読会]	実験手法について，英語文献をもとに討論する。 [場所:総合医療センター11階西カンファレンス室]
評価方法							
(1) 1年間※で、講義は30時間出席し、科目責任者から履修手帳に出席印をもらい、提出する。 (2) 1年間※で、論文紹介または症例発表を2回行い、その要約2編を提出する。 ただし、特論Ⅰ・Ⅲで紹介したものと異なる論文（症例）であること。 ※2月末までの講義を当該年度の単位認定の対象とする。33頁：単位履修方法参照。							
課題（レポート等）に対するフィードバック							
紹介論文の理解内容を諮問、あるいは要約を添削する。							
教科書							
ISBN-9784524227396, 新臨床腫瘍学（改訂第6版），日本臨床腫瘍学会，南江堂，2021							
参考書							
ISBN-9781496394651, DeVita, Hellman, and Rosenberg's Cancer : Principles & Practice of Oncology (11th Edition) , Vincent T. DeVita, Jr. et al., Wolters Kluwer Health, 2018							
準備学習（予習・復習等）							
(1) 自身の研究に関する英語論文を読み、理解したことを説明すること。 (2) 講義の後、7日以内に論文の要点を提出すること。							
修了認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連							
課題を探究し、仮説立脚、検証に至るまでの科学的方法論・思考法を知悉する。							
注意事項・メッセージ							
自由な発想を大事にし、それを具現化する方法を論文から得る。							